

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校スクールバス運営				所管	教育委員会 学務課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和50年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区立中学校の特別支援学級に在籍する生徒							
	事業目的	区立中学校の特別支援学級に在籍する生徒に対しバスを提供することにより、自然学習や施設見学などの校外学習を円滑に実施する。							
	事業内容	校外学習用及び教育委員会が学校教育のため必要と認める学校に対して、スクールバス(民間借上バス)を使用。 借上予定台数: 6台							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度			
	活動指標	中学校(特別支援学級)のバス借上数 (台)	6	(254)	(245)	4			
	成果指標	参加中学校(特別支援学級)数 (校)	1	(32)	(32)	1			
	決算額 (単位:千円)				(14,668)	(13,734)	238		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			(1,800)	(1,666)	426		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			(14,669)	(13,735)	239		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			(16,469)	(15,401)	665		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源(区負担額)			(16,469)	(15,401)	665				
前年度から改善した事項	前年度に引き続き、適正な事業実施に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	スクールバスによる学習は「移動教室」等と同様に、学校を離れ、直接に具体物に接する機会であり、児童にとって興味深い学習であることから、一層の学習効果が期待できる。						
	効率性	3	年度当初にバスの一括借上契約を結び、安い単価でバスを確保し効率化を図っている。						
	手段の適切性	3	民間借上バスの使用により、効率的かつ適切に実施されている。						
	目的達成度	4	バスを利用した校外学習が行われ、学校教育に役立っている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
学校教育の場で有効活用されており、今後も校外学習の円滑かつ効率的な実施に努めていく。						維持			